

授業 科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅱ		区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	社会科指導法Ⅱ				【H】3		【H】2
	【I】	社会科指導法Ⅱ				【I】3		【I】2
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独	【G】	教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民)					
		【H】	教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民)					
		【I】	教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民)					
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブ タイトル	問題解決型の授業、その導入部を学ぶ				担当者	後藤 雅彦		
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 社会科・公民科指導法の「I」もしくは「入門」の続編と位置付ける授業になる。前授業「社会科の時間」を踏まえ、「問題解決型授業」を知り、その導入部を各自の模擬授業で実際的に取り組む。授業後は「構想シート」にまとめていくことで、めざす社会科の授業像を形成する。</p>						
	【到達目標】	<p>○社会科の学習内容の地歴分野から、問題解決型授業づくりのヒントを探し、構想する力を身に付けることができる。</p> <p>○「構想シート」にまとめることで、めざす社会科の授業像を描くことができる。</p>						
履修条件	※注意 「社会科・公民科指導法入門」(2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅰ」と社会科指導法Ⅰ(2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅲ」)を履修済みの者。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	2024年度以降入学者以降は「社会科指導法Ⅱ」。2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅱ」の名称となる。							
教科書	『新しい社会 地理 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)、『新しい社会 歴史 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書) ※どれも中古本でも可 ※注意 本授業では常にノートパソコンを使用する。ない人は貸与手続きをするか、事前に中古でもよいので準備する。(下記「その他」参照のこと。)							
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』、文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』 田部俊充・田尻信壹・小松伸之『大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論』風間書房 原田智仁『社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー』保育出版社							
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題(模擬授業含む)への取組内容(30%)、授業「構想シート」提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック 方法	毎時間の「復習シート」、課題取組へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業 科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅱ	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	社会科指導法Ⅱ			【H】3		【H】2
	【I】	社会科指導法Ⅱ			【I】3		【I】2
授業回数	授 業 内 容						
1	イントロダクションー50分間の授業イメージー						
	予習： 90分を目安に、「社会科の時間」を振り返る。			復習： 90分を目安に、「暗記科目」を壊すイメージを考える。			
2	社会科の求められる授業展開ー問題解決型授業のポイントー						
	予習： 90分を目安に、「暗記科目」を壊すイメージを考える。			復習： 90分を目安に、授業者として何が大事になるかをまとめる。			
3	社会科の教材研究ー模擬授業の準備① 単元確認ー						
	予習： 90分を目安に、学習内容の復習をする。			復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。			
4	社会科の教材研究ー模擬授業の準備② 導入構想ー						
	予習： 90分を目安に、導入を考える。			復習： 90分を目安に、学習課題を完成させる。			
5	社会科の教材研究ー模擬授業の準備③ 導入準備ー						
	予習： 90分を目安に、導入を準備する。			復習： 90分を目安に、模擬授業を完成させる。			
6	社会科の教材研究ー模擬授業の準備④ 全体まとめー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を修正をする。			
7	社会科の模擬授業ー「日本の歴史 古代」ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
8	社会科の模擬授業ー「日本の歴史 中世」ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
9	社会科の模擬授業ー「日本の歴史 近世」ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
10	社会科の模擬授業ー「日本の歴史 近代」ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
11	社会科の模擬授業ー「日本の歴史 現代」ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
12	社会科の模擬授業ー「世界の諸地域」① ヨーロッパ州ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
13	社会科の模擬授業ー「世界の諸地域」② 北アメリカ州ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
14	社会科の模擬授業ー「日本の諸地域」① 九州地方ー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、授業「構想シート」を完成させる。			
15	社会科の模擬授業ー「日本の諸地域」② 中部地方/まとめー						
	予習： 90分を目安に、授業「構想シート」を作成する。			復習： 90分を目安に、めざす社会科の授業像を総括する。			
その他	全体履修人数の多少によって、必要に応じ内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。 ※常時ノートパソコンを使用する、自宅で十分充電して持参する。						